

公益社団法人愛知県医師会 第14回(定例)理事会議事録

開催日時：平成27年7月30日(木) 午後2時30分～午後4時35分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／山本 楯 伊藤 宣夫 横井 隆

理事／市川 朝洋 吉田 貴 伊藤 健一 城 義政 加藤 雅通

大輪 芳裕 西山 朗 樫尾 富二 樋口 俊寛 伊藤 富士子

瀬瀬 雅明 細川 秀一 森 孝生 城 卓志 野田 正治

監事／岩瀬 敬紀 可世木 成明 榊原 一基

代議員会副議長／川上 雅正 杉田 洋一

欠席者

代議員会議長／水野 和夫

議事録作成者 加藤 結花

※伊藤(富)理事離席のため、承認事項1～2については、24名(うち理事18名)にて審議した。

細川理事離席のため、協議事項6～7については、24名(うち理事18名)にて審議した。

柵木会長離席のため、報告事項16～17は山本副会長が議事を行った。

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者24名(うち理事19名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

議事進行に先立ち、柵木会長より挨拶。

議 事

一承認事項一

1. 庶務関係事項について

(1) 後援並びに共催について

①公益社団法人 日本医業経営コンサルタント協会(愛知県支部長 六谷秀生)主催の「地域研究交流会(医業経営セミナー)の後援について

市川理事より説明され、承認された。

(2) 一般社団法人碧南市医師会(会長 杉浦勇人)主催の在宅医療推進講演会 [9/13(日)]

の後援について

市川理事より説明され、承認された。

(3) 一般社団法人名古屋市医師会(会長 杉田洋一)主催の「愛知県警と名古屋市警察医との懇談会」への本会理事の派遣について

市川理事より説明され、本会の細川理事の派遣が承認された。

2. 委員会・部会、講演会等(本会主催分)の開催について

柵木会長より、以下の No. 1~3 の本会主催の委員会・部会、講演会等の開催について一括承認を求め、承認された。

No.	開催日	名称	開催場所	担当理事
1	9/30(水)	愛知県広域予防接種事業運営委員会(平成27年9月開催分開催日の変更)	5階医師連盟会議室	額額理事 吉田理事
2	H27.10~ H28.3	日本医師会認定産業医研修会	資料参照	西山理事 市川理事
3	8/27(木)	「現代医学」誌編集委員会	501 会議室	城理事 大輪理事

3. 平成27年度中部医師会連合委員について

市川理事より説明され、標記委員として、資料の通り中部医師会連合へ推薦することが承認された。(定員36名:日医代議員17名、役員(日医代議員兼務を除く)11名、日医予備代議員8名(名古屋3名、尾張3名、三河2名のうち、序列順に選出)。)

柵木会長より、本委員については、本会の日医代議員、日医予備代議員、役員が対象となり、定員は日医代議員の倍数の36名で構成されると補足された。

4. 生涯教育委員会委員の変更について

森理事より説明され、愛知県皮膚科医会の大野盛秀先生から笠松正憲先生への変更が承認された。

—協議事項—

5. 公益社団法人愛知県医師会会館管理規程の変更について

市川理事より説明され、平成28年度より、17時以降も行っていた会議室等の貸し出しについて、17時以降の貸し出しの見直しを行うことを始め、利用料金の改定等、一部の会館管理規程を改正することが承認された。

また、追加した③第11条の会場借受人が守らなければならない事項の「4. 会場内での飲食はしないこと。」(案)は原則としての文言を追記することとし、承認

された。

改正点は後記のとおりである。

- ①第6条の「会館会議室の使用時間は午前9時より午後5時までを原則とする。」とあるのを、「現状復帰を含めて鍵の返却は午後6時までを厳守とする。」とした。
- ②第8条の負担金については、全体には据え置きとし、一部修繕や更新を行った会議室や備品についてのみ、金額の変更をすることとした。
- ③第11条の会場借受人が守らなければならない事項に「4. 原則として、会場内での飲食はしないこと。」を追加した。

6. 公益社団法人愛知県医師会設立70周年記念式典について

市川理事より説明され、2年後の平成29年11月に本会は70周年を迎えるにあたり、平成29年11月11日(第2土曜日)に標記の式典を執り行うこと、及び計画(案)が承認された。また、記念式典を執り行うにあたり、プロジェクト委員会を立ち上げることはせず、担当理事を中心に進めていくこと、公益社団法人愛知県医師会設立70周年特別演奏会については、式典とは別の日程で開催し、内容については、愛知県医師会交響楽団に一任することが併せて承認された。

7. 会費の減免申請について

西山理事より説明され、豊橋市医師会より、申請があった入会金徴収猶予申請が承認された。

8. その他

—報告事項—

【日本医師会、各医師会、中部医師会連合等会議について】

1. 日医第11回男女共同参画フォーラム〔7/25(土)〕について

(日本医師会主催：ホテルクレメント徳島)

伊藤(富)理事より、プログラムに従い会が進行し、基調講演は小室淑恵氏による、少子高齢化により激変する日本社会にワーク・ライフバランスを用いた経営戦略で変革をもたらそう、というものであったと報告された。シンポジウム①は隠岐で夫婦ともに医師として地域医療に取り組む男性医師及び育児休暇を2回取った男性医師等の講演、シンポジウム②は主に米国との子育て事情の比較が行われたと説明された。

また、人口ボーナス期と人口オーナス期について説明され、人口ボーナス期は今後2度と来ることはなく、人口オーナス期は、少子化対策の失敗が一因であり、人口オーナス期を乗り越える対策を講じることが課題であると説明された。

【本会関係会議について】

2. 学校保健部会幹事会〔7/14(火)〕について

(6階研修室)

吉田理事より、協議については、3月6日(日)に開催する学校保健シンポジウムの特別講演とシンポジウムのテーマについて検討し、色覚異常検査について意見交換を行ったと説明された。報告事項では、関係会議等について出席者より報告を行い、食物アレルギーに対応可能な医療機関リストを作成するため、医療機関にアンケートをとることが了承されたと報告された。

山本副会長より、色覚検査の態勢について質問され、吉田理事より、希望者には養護教諭が石原式色覚検査をし、眼科医に紹介することになっていると発言された。山本副会長より、色覚検査は実施しないことになったのではないかと質問され、吉田理事より、本来は全員に実施したいが、希望者のみ実施することが可能であると説明された。

柵木会長より、全国的にはどのようなになっているか質問され、吉田理事より、文部科学省からの通達であるので、全国統一であると説明された。

3. 治験審査会〔7/17(金)〕について

(804会議室)

加藤理事より、継続審査10件(大うつ病3件、認知症・統合失調症各2件、潰瘍性大腸炎・アルコール依存症・双極Ⅰ型障害各1件)については、「修正の上で承認」が1件、その他すべて承認されたと報告された。

修正点については、リーフレットの文言を、「アルツハイマー型認知症患者様」から「アルツハイマー型認知症患者様およびご家族様」に変更したと補足された。

4. 調査室委員会〔7/21(火)〕について

(5 階医師連盟会議室)

大輪理事より、調査室だよりの原稿について検討したと報告された。また、平成 27 年度都道府県医師会税制担当理事連絡協議会の報告を行い、税制問題に関しては実態についてもっと広く周知を行うべきである等、意見交換を行ったと説明された。その他、MEDIFAX 記事・Twitter 投稿記事についても解説、意見交換を行ったと報告された。

5. 産業保健部会幹事会〔7/24(金)〕について

(6 階研修室)

西山理事より、平成 28 年度日本医師会認定産業医研修会〔H28. 4～H28. 12〕、職場巡視プログラム等について協議を行い承認されたと報告された。

報告については、県下、地区医師会へ周知する書類の再確認を行ったこと、関係機関からの連絡事項について報告された。また、受動喫煙防止対策については努力義務であるので、徹底していただくよう質問状を提出する予定であると説明された。

6. 講演会・研修会等について

柵木会長より、本会主催の講習会・研修会等は資料により報告すると発言された。

No.	開催日	名称	出席者数等	担当理事
1	7/22(水)	健康教育講座	80 名	吉田理事 瀬瀬理事

【行政、その他関係団体等会議について】

7. 第 6 回エコチル調査愛知ユニットセンター運営協議会〔7/22(水)〕について

(エコチル調査愛知ユニットセンター主催：栄ガスビル)

柵木会長より、前回(第 13 回)の定例理事会会長挨拶の際に報告済みであるため、割愛すると発言された。

8. 愛知県医療審議会医療体制部会〔7/27(月)〕について

(愛知県主催：愛知県自治センター)

柵木会長より、地域医療構想調整ワーキンググループの設置、構成員のメンバーについて、スケジュールについて等、資料に沿って説明され、ワーキンググループの会長は地区医師会長があたることになっていると補足された。

また、本県における構想区域については、原則として 2 次医療圏を構想区域とし、尾張中部医療圏は名古屋医療圏と統合して構想区域を設定すること、東三河北部医療圏については、東三河南部医療圏と統合することが考えられるが、結論として地元の意向確認を注視することとしたことが報告された。

9. 平成 27 年度東海ブロック学校保健会連絡協議会議 [7/22(水)] について

(愛知県学校保健会主催：ウインクあいち)

伊藤副会長より、東海ブロック学校保健会連絡協議会は、愛知県、三重県、岐阜県、名古屋市の学校保健会で成り立っていると説明された。

学校欠席者の情報システムについては、インフルエンザサーベイランスの学校版であり、全国で 37 都道府県が行っているが、愛知県では実施しておらず、名古屋市教育委員会に杉田副議長(名古屋市医師会長)より働きかけていただきたいと依頼された。学校運動器検診の導入については、文科省でマニュアルを作成し、各都道府県に通知する予定であるので、その後どのように行うか検討することとなると説明された。また、健康調査表の変更について、アレルギー疾患の管理表、プールのサンスクリーン使用について協議したと報告された。

10. 東海北陸地方社会保険医療協議会愛知部会 [7/27(月)] について

(東海北陸厚生局主催：中産連ビル新館 8 階会議室)

伊藤副会長より、在宅クリニックについては図面ではなく、写真を添付することが必要であると説明された。

11. 第 28 回全国有床診療所連絡協議会総会(茨城大会) [7/25(土)・26(日)] について

(全国有床診療所連絡協議会主催：水戸プラザホテル)

伊藤(健)理事より、7月25日(土)、茨城県水戸市で全国有床診療所連絡協議会総会が開催され、厚労省の二川医政局長より社会保障の将来と現在の有床診療所について、特に回復期機能を診療所を含めて病床機能としてどう位置付けていくかが今後の議論であるとの講演があったと報告された。さらに田中滋先生より、団塊の世代の Jr 高齢化の問題、すなわち 2040～50 年の問題であると説明されたと報告された。

12. 精神科救急医療システム協議会 [7/23(木)] について

(愛知県主催：自治センター)

城(義)理事より、緊急措置診察の際、夜間、休日に限り行政職員の立会を省略することを認めると説明された。受入側委員より、行政職員の立会が昼間でも遅いことが多いとの指摘があり、夜間、休日に限らず昼間でも省略出来ればとの発言があった。また、精神身体合併症を持った患者の受け入れを、県下 6 救急病院と 7 精神科病院でモデル事業を行っており、平成 26 年度の連携パス活用件数は 78 症例であったと報告された。

樋口理事より、東三河の救急受け入れ体制が非常に悪く、豊田までお願いしている実情である。特に在宅の認知症の患者についての受け入れ体制については甚だしい状況で、救急の中に取り入れることができないか質問された。城(義)理事より、精神科の会であるので、認知症については話題に上らないが、次回の協議会、救急委

員会で取り上げたいと発言された。

1 3. 平成 27 年度第 1 回愛知県准看護師試験委員会議 [7/27(月)] について

(愛知県主催：自治センター)

大輪理事より、議題に沿って議事が進められたと報告された。

准看護師の行政処分の審議について説明され、30代の男性准看護師が、児童福祉法違反で准看護師免許を取り消されたと説明された。また、第67回愛知県准看護師試験の試験問題については、180題中、43題を愛知県が担当したと説明された。

1 4. 愛知県自殺対策推進協議会 [7/21(火)] について

(愛知県主催：自治センター)

西山理事より、平成 26 年度の自殺の概況について、全国的には平成 21 年以降減少しており、25,427 人、愛知県は 1,395 人であったと説明された。“あいち自殺対策総合計画”の進捗状況等については、地域自殺対策緊急強化基金から愛知県には平成 25～28 年に毎年 1.5 億円が交付され、2 年目の進捗状況としては良好で自殺者も減少していると報告された。

1 5. 平成 27 年度第 1 回愛知県介護予防推進会議 [7/22(水)] について

(愛知県主催：愛知県庁西庁舎)

樋口理事より、メンバー、スケジュールについて説明された。また、今年度の介護予防市町村支援(案)が示され、それぞれの課題に対する取り組みや作業部会での検討内容について意見交換を行ったと報告された。

1 6. 平成 27 年度第 1 回愛知県慢性閉塞性肺疾患(COPD)対策会議 [7/22(水)] について

(愛知県主催：愛知県庁西庁舎)

森理事より、「健康日本 21 あいち新計画」における COPD 対策について、昨年度からの経過及び平成 27 年度の取り組みについて報告された。今後のスケジュールの説明をされ、本年度は「COPD 医療連携推進のための研修会」が平成 27 年 10 月 22 日(木)、愛知県芸術文化センターでの開催が予定されていると説明された。

1 7. 平成 27 年度第 1 回愛知県認知症施策推進会議 [7/22(水)] について

(愛知県主催：愛知県庁西庁舎)

野田理事より、国立長寿医療研究センターの遠藤先生が会長に選出され、県庁より平成 26 年度の認知症施策事業の実績報告と平成 27 年度認知症施策事業計画の説明がなされたこと、新規事業について意見交換したと報告された。

また、徘徊という言葉は差別用語であるという意見も出始めており、「ひとり歩き」という言葉が用いられていたと補足された。

【その他事項について】

18. 予算の執行状況並びに資産の運用状況について

西山理事より、平成27年6月30日現在の予算の執行状況並びに資産の運用状況について報告された。

19. その他

(樫尾理事)

樫尾理事より、支払基金より査定された診療報酬について、直接被保険者へ返還するかどうかの確認連絡がトヨタ自動車健康保険組合からあったと名古屋市議会から情報提供があった。保険者への返還は通常行われるが、被保険者への返還はどのように扱えば良いかであるが、被保険者に対しては返金しなくても罰則はなく、厚生局もチェックをしていないが、今後、保険者から被保険者へ直接連絡することが増えていくことになると発言された。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成27年7月30日